エプソングループ健康経営戦略マップ

2026年8月28日

基本的な考え方	こころとからだが健康でいきいきと働き続けられるために、『自律的健康管理』ができるよう支援、活動を展開する。この活動を通して、企業価値向上に貢献することを目指す ※自律的健康管理とは、私たち一人ひとりが自分の健康状態を把握し、信頼できる情報を正しく選び、判断し、活用する力を高めながら、主体的に生活習慣やこころとからだを整えていくこと

健康投資（施策）

«取組みの関係性»　«具体的な取組み»

自分の健康を知る

- 健康関連調査の実施 → 回答率・各結果
- 測定会の実施 → 実施率
  体組成・転倒リスク　等
- セルフチェックの実施 → 実施率
  睡眠・ストレス対応傾向・疲労　等

行動を選ぶ・判断する

- 教育・研修会の実施 → 実施率・理解度
  ヘルスリテラシー・ストレス対応・階層別　等
- 健康に関する情報提供 → 実施率
  運動・食事・睡眠・疲労　等

活用・実践する

- 体験型プログラムの実施 → 実施率・満足度
  睡眠・運動・女性の健康　等
- 個別支援の実施 → 実施率

【活動基盤】
産業医・看護職・産業カウンセラー等の配置
健康保険組合との協働、健康管理支援システムの活用、社外分析機関の活用

※遵法実施項目は本マップには記載しない

健康投資効果

施策の取組状況

自律的健康管理ができている

KPI

- ヘルスリテラシーの向上
  ヘルスリテラシー尺度　3.8以上※1
- 健康的な生活習慣行動の増加
  健康的な生活習慣行動７つの実践数
  5.0個以上
- ストレス対応力の向上
  ６つのｽﾄﾚｽｺｰﾋﾟﾝｸﾞのうち４つ以上ある人※2
  70%以上

※１：測定方法：CCHL
※２：測定方法：BSCP

KGI　2030年度目標

こころとからだが健康でいきいきと働き続けられる

- コンディションが整い、本来の力を発揮している
  プレゼンティーズム　A判定の継続　※3
- 脳・心臓疾患リスクの低い健康状態を維持している
  脳・心臓疾患新規発症者割合
  1.10%以下継続
- レジリエンス力を備えている
  獲得的要因の平均3.37以上※4

※３：測定方法：Wfun
　　A判定とは問題なし50%以上かつ
　　中等度と重度20%以下かつ重度10%以下
※４：測定方法：二次元レジリエンス尺度

健康経営の推進方針

「グループすべての働く人の健康が最重要」の考えの下

働く人と会社が一体となり、いきいきと楽しく働くことができる職場環境をつくり、こころとからだの健康づくりに取り組みます。

そして、すべての働く人が活力ある職場で躍動し、世の中に驚きと感動をもたらす成果を生み出し、より良い社会の実現を目指します。

経営方針

ENGINEERED FUTURE　2035　の実現